



Nagahama City Cultural Arts Promotion Vision

長浜市文化芸術振興ビジョン
【PR版】

長浜市文化芸術振興ビジョン
令和4年3月
発行 滋賀県長浜市

問い合わせ先

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地
長浜市 市民協働部 生涯学習文化課
電話:0749-65-6552
E-mail:syoubun@city.nagahama.lg.jp

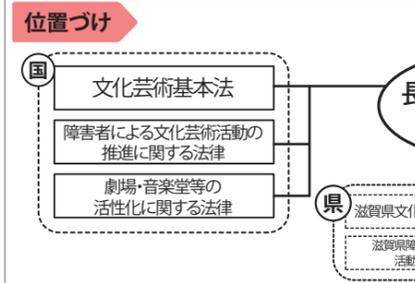


本編は長浜市のホームページ
からご覧ください

Nagahama City Cultural Arts Promotion Vision

長浜市文化芸術振興ビジョン

【PR版】



第1章 ビジョン策定の趣旨

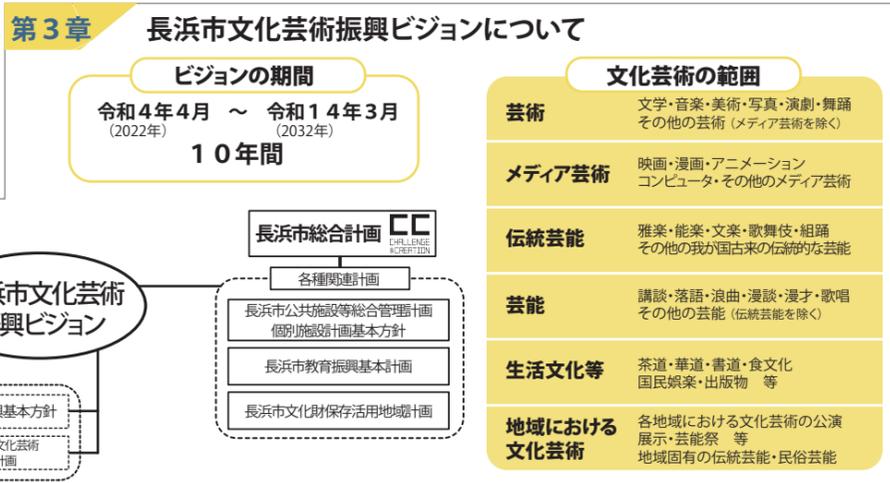
市民や文化芸術団体など文化芸術に関わる関係団体が、共通した方向性を持ち、連携して本市の文化芸術のすそ野を広げ、文化芸術による魅力あるまちづくりを進め、市民生活の充実と地域のさらなる活性化を図ることを目的とする。

第2章 策定の背景

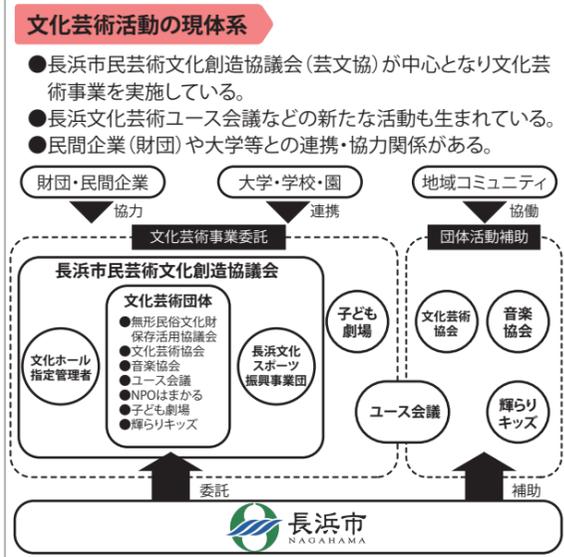
社会的状況の変化

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止による交流制限
- 情報化社会の進展(スマートフォンの普及率が非常に高い)

●2度の合併(1市8町が合併)
●豊かな自然と歴史的・文化的資源が豊富
●進取の気性に満ちた市民気質、住民自治意識が高い



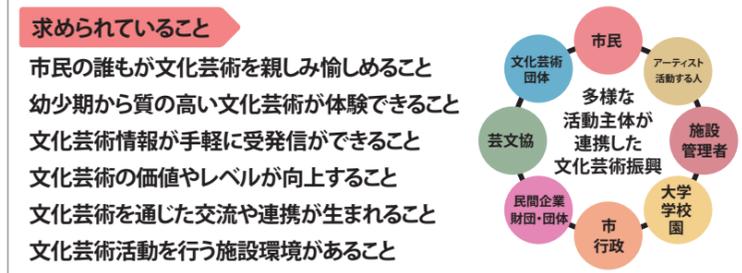
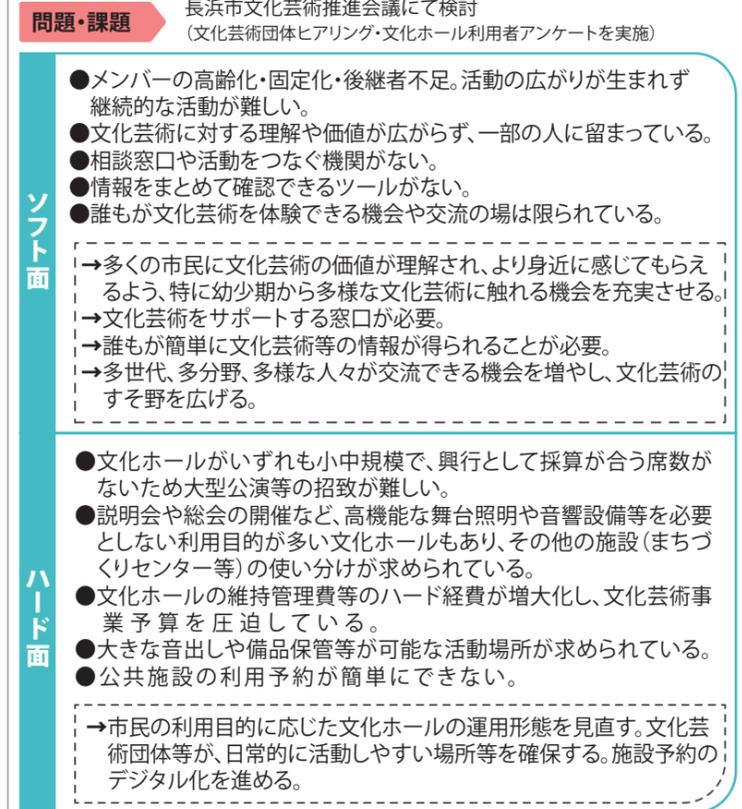
第4章 長浜市の文化芸術に関する現状



現状

- 様々な文化芸術事業を開催している。鑑賞型事業(オーケストラや和楽器などの音楽公演や演劇、伝統芸能など舞台公演等)、市民文化創造事業(市民オペラ制作公演、市美術展覧会、市民音楽祭など市民が主体となって活動される事業)、次世代育成事業(中学校吹奏楽祭や小中学校等でのアウトリーチ事業(注1)等)
- (注1) アウトリーチ事業… プロの演奏家や地域で伝統芸能・文化芸術活動を行う人が、学校や施設等に直接出向き、出張でワークショップや体験教室、演奏活動などを行う事業。
- 席数が200~500席までの小中規模の文化ホールが市内に7つあり、合併後施設の選択肢が増えた結果、利用に偏りがある。
- 文化ホールは、築年数の経過による老朽化により、修繕費等の経費がかかっている。
- まちづくりセンターや民間施設等、文化ホール以外の活動施設の需要も高い。

第5章 現状からみた文化芸術活動の問題や課題



第6章 本ビジョンの基本的な考え方

めざす将来像

豊かな文化芸術の力で笑顔と魅力があふれるまち 長浜

文化芸術には、感性などだけではなく人や地域、全てを「豊かに」する力があります。文化芸術に関わる市民や文化芸術団体等が連携し、心の豊かさや創造力が育まれることにより、「市民の愉しみ(=笑顔)」と「地域の新たな魅力」にあふれる長浜となることをめざし、将来にわたり「活力ある長浜」であり続けます。



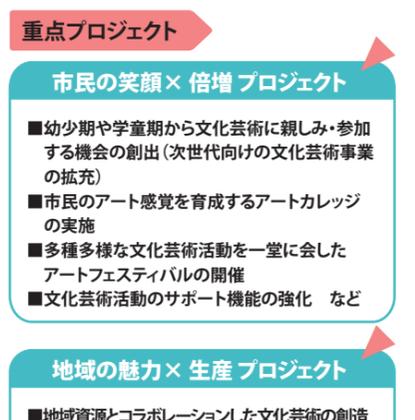
第7章 具体的な取組

つくる **基本方針** **市民の誰もが親しめる長浜らしい文化芸術の創造**

施策① 誰もが文化芸術を体験できる機会を充実させる
施策② 地域資源と融合した長浜独自の文化芸術を創造する
施策③ 文化芸術の質を高める仕組みを構築する

育てる **基本方針** **文化芸術感覚の醸成**

施策① 次代を担う子どもたちや若者たちの感性や創造力を育成する
施策② 地域固有の伝統文化を継承・育成する
施策③ 日々の暮らしの中にある「アート感覚」を育成し、市民生活をより美しく充実させる



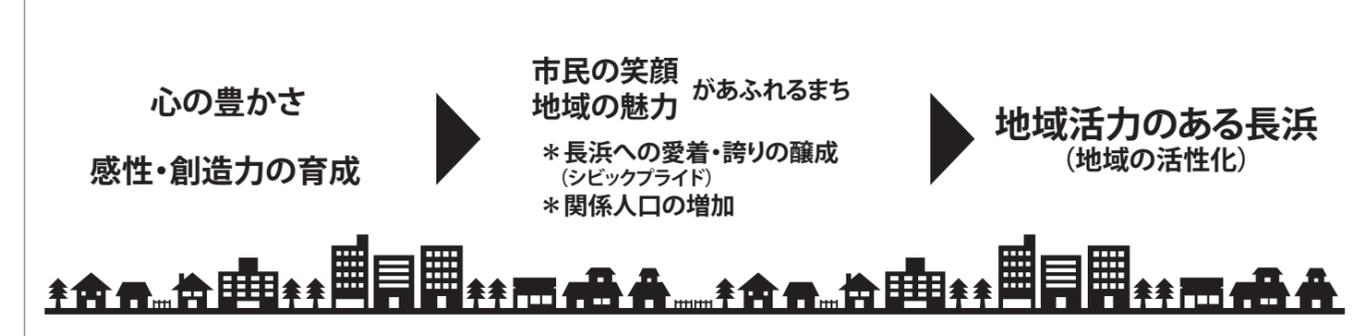
第8章 本ビジョンの推進体制

支える **基本方針** **市民や文化芸術団体の主体的な活動の支援**

施策① 市民が主体となる多様な文化芸術創造事業を推進する
施策② 文化芸術活動をサポートする機能を充実させる(長浜市民文化芸術創造協議会の機能強化)
施策③ 市民が利用しやすい文化芸術活動の場を整える(文化ホール等の活用整備の推進)
施策④ デジタル環境の整備と情報発信力を強化する
施策⑤ 文化芸術団体の主体的な活動を支援する

つなぐ **基本方針** **文化芸術により人や地域等がつながるコミュニティの形成**

施策① 市民や活動する人、文化芸術団体の交流機会を創出する
施策② 他分野との連携による文化芸術の新たな価値を創造する



活動主体の連携強化

文化芸術の発展・振興のために、主役である市民と文化芸術団体、長浜市民芸術文化創造協議会などの様々な活動主体が、それぞれ役割を担い、連携を図る。

ビジョンの評価

文化芸術関係者と学術経験者、市民代表等からなる「文化芸術振興会議」を定期的に開催し、本ビジョンの進捗や方向性の確認を行う。また、「市民意識調査」等により、文化芸術に対する認識等の変化の推移を確認していく。